

- 独立行政法人情報通信研究機構に4つの戦略分野の課題を加速するために研究開発推進ユニットを設置
 - 平成16年12月7日
-

独立行政法人情報通信研究機構(理事長:長尾 真)は、ICTバリューチェーン(注1.)を効果的に駆動する4つの戦略分野を設定し、その中に具体的なプログラムを掲げて推進してきましたが、この度プログラムの推進を更に加速させるため、部門横断的な研究開発推進ユニットを設置することと致しました。平成16年12月7日に以下の6つの研究開発推進ユニットを設置します。今後、他のプログラムについてもユニット設置を検討していくこととしております。

<研究開発推進ユニット>

- 新世代モバイルユニット
ユニット長:若菜弘充無線通信部門研究主管 担当理事等:大森慎吾執行役
- フォトニックネットワークユニット
ユニット長:久保田文人情報通信部門研究主管 担当理事等:塩見正理事
- 情報セキュリティネットワークユニット
ユニット長:松島裕一情報通信部門長 担当理事等:寺崎明理事
- EMCユニット
ユニット長:鈴木良昭無線通信部門長 担当理事等:塩見正理事
- 光・量子通信ユニット
ユニット長:大久保明研究開発推進部門長 担当理事等:井筒雅之上席研究員
- 研究開発ネットワークユニット
ユニット長:上野貴弘拠点研究推進部門長 担当理事等:加藤邦紘理事

(注1):情報通信技術によって新しい価値が生まれ、国民生活の豊かさへとつながっていく連鎖(チェーン)のこと。NICTビジョンのキーワード。

<問い合わせ先>

情報通信研究機構 総務部 広報室
栗原 則幸、大野 由樹子

Tel: 042-327-6923、Fax: 042-327-7587

<研究開発推進ユニットに関する問い合わせ先>

総合企画部
渡辺克也、菅谷明彦

Tel: 042-327-7462

Fax: 042-327-7458

ICTで未来社会を創るエンジンになる。

ICT Value Chain

- New ICT** 日本発の新たなICTの「礎」を作る。
- Infrastructure for ICT Society** ICT社会の「安心・安全」を作る。
- Challenge** 10年後、20年後の日本の「種」を作る。
- Testbed & Promotion** 技術の花開かせる「小槌」を作る。

ICT: Information and Communications Technology : 情報通信技術

戦略的なプログラムの実現

4つの戦略分野を設定し、トリガーとなる研究課題への総花的でない集中的なリソースの投入。→総合的な研究開発・事業振興機能を活かした各種プログラムの推進

New ICT

日本発の新たなICTの「礎」を作る

日本ならではの独創性と先見性に富み、未来のICT社会において「世界標準」を実現する研究開発に取り組みます。

ユビキタス・ブロードバンド プログラム
モバイルICT プログラム
コンテンツ利活用 プログラム
ヒューマンコミュニケーション プログラム
フォトニックネットワーク プログラム

Infrastructure for ICT Society

ICT社会の「安心・安全」を作る

未来のICT社会における国民生活・社会生活・国際社会・地球環境の「安心と安全」を確立する研究開発に取り組みます。

情報セキュリティ プログラム
タイム・測位 プログラム
電磁環境・電波資源開発 プログラム
高度放送 プログラム
環境・計測・宇宙天気 プログラム

Challenge

10年後、20年後の日本の「種」を作る

国民生活の未来を拓き、日本の産業・経済を安定的に発展させるために、「長期的視点」に立った先端的な研究開発に取り組みます。

ナノICT プログラム
バイオICT プログラム
光・量子通信 プログラム
スペース・テクノロジー プログラム

Testbed and Promotion

技術の花開かせる「小槌」を作る

技術を実用化に結びつけ新たなビジネス・サービスを創出させるため、民間等の研究支援、事業支援に取り組みます。

研究開発ネットワーク プログラム
アプリケーションプラットフォーム プログラム
民間基盤技術研究促進 プログラム
新事業創出・育成 プログラム

注: は今回のユニットに関するプログラム